

令和3年(2021年)9月5日(日曜日)



再開発事業と地質の関係などを学んだ勉強会
＝三島市民文化会館

三島駅南口東街区再開発

専門家が地質解説

GW三島

三島市のNPO法人グラウンドワーク三島は4日、三島駅南口東街区に広域健康医療拠点や高層マンションを建設する再開発事業の勉強会を市民文化会館で開いた。地質学者の塩坂邦雄氏が講師を務め、地盤の強度や地下水への影響についての見解を示した。

三島市のNPO法人グラウンドワーク三島は4日、三島駅南口東街区に広域健康医療拠点や高層マンションを建設する再開発事業の勉強会を市民文化会館で開いた。地質学者の塩坂邦雄氏が講師を務め、地盤の強度や地下水への影響についての見解を示した。

塩坂氏は約2万年前に形成された東街区の地質構造について、駅の南側に横断する軽石層を富士山からの溶岩が乗り越えて固まったと解説。地表と軽石層の間に位置する溶岩層は薄く、空洞が通るなど不均一な地質になるとして高層マンション建設の問題点を指摘した。

一方、市などで行く地下水対策検討委員会では既に溶岩層や地質の調査を実施し、十分な地盤の強度を確認したとしている。事業用地にくいを打ち込まない直接基礎により、地下水脈への影響が極めて少ない工法を採用する方針。

(三島支局・金野真仁)